

安心して暮らせる地域を みんなで作るために…

～地域福祉部はこんな役割を担っています～

ご近所さんの様子が気になったら、ちょっと声をかけてみる、こうしたつながりが安心して暮らせるまちづくりには必要です。そのため、地域福祉部の活動をつうじて、お互いに支え合える地域づくりに取り組んでみませんか？

地域福祉部とは？

福祉に関する課題には、行政などのサービスによって解決できるものと、自分たちの力で解決しなければならないものがあります。しかし、一人の力で解決できるものではなく、地域の力が重要となってきます。

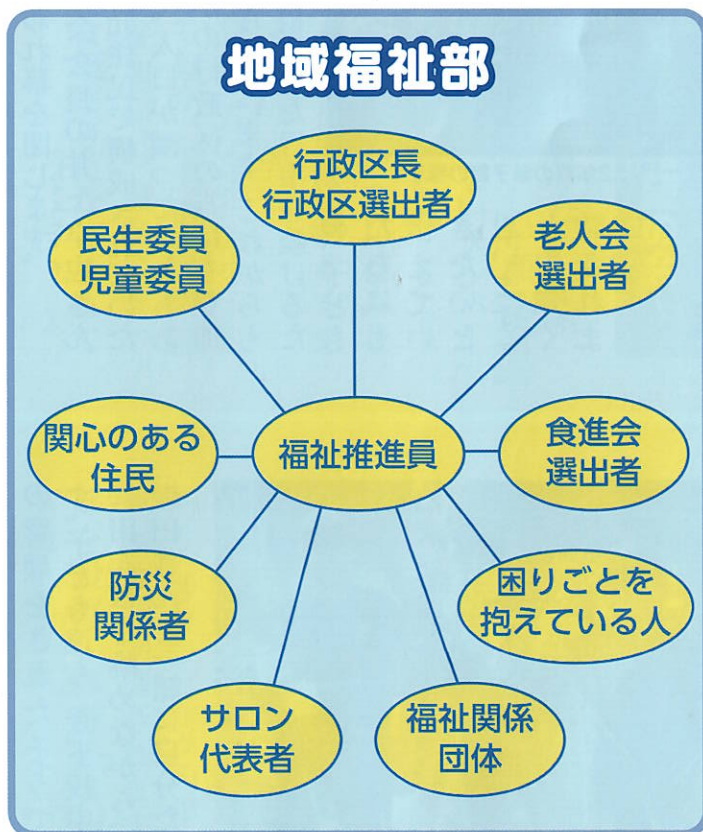
地域には、子ども会や老人会、女性部などがありますが、福祉に関する課題について考える組織はありません。そのため、本会では、地域のいろいろな人たちが同じ立場で地域の課題を考え、解決に向けて活動する地域福祉部の設置を推進しています。

福祉推進員の役割

福祉推進員には、地域のアンテナ役として、その地域に住んでいるからこそ分かる「個人の困りごと」や「地域の困りごと」を捉え、地域福祉部で話し合う調整役を担ったり、社協への連絡調整を担う役割があります。

平成30年10月現在、市内18行政区に設置されており、定期的な調整会議の開催や一人暮らしの方への見守り活動、手作り弁当を届けたり、男性料理教室の開催、世代間交流事業やサロンの運営など、地域ならではの顔が見える関係づくりが行われています。

地域福祉部



地域福祉部の活動例

〈個別課題〉

(例)外に出ることがおっくうになり、家に閉じこもってばかりいる一人暮らしのAさん

〈地域での取り組み〉

- ・Aさんに外出する場を提供する。
- ・Aさん宅を定期的に訪問して見守る。
- ・Aさんと同じ状況にある人がいないか思いをめぐらしてみる。
- ・サロンへの参加を呼びかける。